

What's New?

一図書館に新しく入った本をご紹介しますー

『数は無限の名探偵』

はやみね かおる、
向井 湘吾、井上 真偽、
青柳 碧人、加藤 元浩／著
朝日新聞出版



「数学で謎を解く」がテーマの
アンソロジー。謎が解けたそのあとは、何だ
か世界が変わったような不思議な感覚と、
「数」の奥深さを感じられる1冊です。

『おとなになれたら』

ニキ・コーンウェル／作
渋谷 弘子／訳
牧野 鈴子／絵
文研出版



将来のことを考える時、
私たちは当たり前のように「大人になっ
たら」と考えるけれど…。戦争によって大
人になることすら困難だったテズとその
家族の物語。

ごあいさつ

長い間、ヤングアダルト世代の皆さんへ向けて本をご紹介させて頂き
ましたこの広報誌「YOUNG ADULT NEWS」通称「YAN」(ヤン)は、
今号で最終号となります。

これまで本誌を手に取り、また、紹介した本を借りて下さった皆さま、
本当にありがとうございました。

長岡市立地域図書館では、今後も様々な本や図書館の情報を皆さん
にお伝えしていきたいと考えております。

「YAN」は終わってしましますが、本が読みたくなった時、調べものを
したい時、勉強したい時、いつでも図書館におこしください。皆さんの
ご来館をお待ちしています！

長岡市立地域図書館

◆ヤングアダルトとは、12～18歳くらいのみなさんのことです。

◆本の表紙掲載については出版社の許諾を得ています。

長岡市立地域図書館(6館)

■西地域図書館	TEL27-4900	■南地域図書館	TEL30-3501
■北地域図書館	TEL22-7100	■中之島地域図書館	TEL61-2165
■寺泊地域図書館	TEL75-5159	■栃尾地域図書館	TEL53-3005

◎お問い合わせは北地域図書館へ ※互尊文庫は、「米百俵プレイスマリエ長岡」への移転準備のため、2月28日
で閉館いたしました。学習室のみ、3月15日まで開放しております。

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3 mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp

図書館ホームページ <https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

編集・発行／指定管理者 株式会社図書館流通センター(TRC)

YAN

Vol.87

春は始まりの季節。

新しい夢、新しい目標へ向かって

飛び立つ準備は出来ていますか？



飛べ！
向かい風で
乾ルカ
ジャンプ！

『向かい風で飛べ！』 乾 ルカ／著 中央公論新社

小学五年生の室井さつきは、転校先で馴染めず孤独な日々を送って
いました。ある日、同じクラスの小山内理子が飛ぶ姿を見た事がきっかけ
で、スキージャンプにのめり込んでいきます。最初は母親に反対されなが
らも純粋にジャンプを楽しみ上達していくさつきと、自身の体型変化に
段々と不安が広がる理子。悩み戸惑いながらも、選手として、一人の人間
として成長していく青春物語です。

テーマ ジャンプ!

『イコトラベリング 1948-』

角野 栄子／著 KADOKAWA

1948年。未だ戦争の影が残りつつも、急激に変化し始めた世の中にうきうきする一方で、不安や戸惑いを感じるイコ。そんな中、英語の授業で習った「現在進行形」が「今しつつある」この言葉って素敵!こんな風に生きていけたら」と、イコの背中を押してくれます。そして、「いつかどこかへ行きたい」と強く願うようになり…。

ここから違うどこかへ、一歩踏み出すことの素晴らしさを教えてくれる作品です。



『階段ランナー』 吉野 万理子／著 徳間書店

高校生の広夢と瑠衣、接点のなかった2人は階段研究家のタクワン先生のブログをきっかけに交流を深めていきます。ある日、駅ビルの大階段を上り、速度を競うという階段レースに先生が出場することを知ります。広夢にも誘いの声がかかりますが、メンバーにはこの大会にける熱い思いがあるようで…。上位入賞を目指し171段の階段を駆け上がります。辛く苦しいことがあっても、力強く前へと踏み出していく姿に勇気をもらえるお話です。

『少年少女飛行倶楽部』 加納 朋子／著 文藝春秋

中学一年生の海月が幼馴染みの樹絵里に誘われて入部したのは「飛行クラブ」。メンバーは二年生の通称カミサマこと変人部長の神と、野球部との兼部の海星の4人のみ。お金が無いなか、中学生がどうやって空を飛ぶのか、そして飛ぶことが出来るのか?部活を通して主人公が成長する、恋あり友情ありの青春小説です。部活っていいかもと思わせてくれる1冊です。



『旅が好きだ! 21人が見つけた新たな世界への扉』

河出書房新社／編 河出書房新社

様々な分野で活躍する旅好きの21人が、それぞれの視点から「旅」をテーマに文章や漫画で綴っています。実際に現地に行き、体感し、想いを馳せる。そんな旅の魅力が余すことなく語られており、あらためて「旅」は、場所や時を飛び越える力があるのだと教えてくれます。

巻末で紹介されている、旅のブックガイドもバラエティにとんでいてオススメです。新たな世界へ大きくジャンプしてみようと思える1冊です。



『15歳から身につける経済リテラシー』

岡野 進／著 朝日学生新聞社

物価上昇やコロナなどの経済不安により「資産形成」への意識にも変化が見られます。金融や経済の知識を高め、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力、すなわち「生きる力」を身につけることが大切です。分かりやすく経済の基本について解説されたこの本は、中高生のテキストとして最適です。世の中を賢く生きる力を身につけ、2023年を飛躍の年としましょう。



『真夜中の飛行』

リタ・マーフィー／作 三辺 律子／訳 小峰書店

ハンセン家の女たちは空を飛ぶことができ、15歳のジョージア・ハンセンもその一人。夜はのびやかに飛び一方、厳格な祖母と代々伝わる家の規則に縛られて生きていました。そんなある日、家から追放されたはずの叔母・カルメンが姿を現し、大きな転機を迎えます。ジョージアはこれまで誰かと一緒に飛んでいましたが、16歳の誕生日に儀式として一人で空を飛びます。伝統と規則に縛られずに空を飛び場は自由への第一歩のように感じられ、思わず空を飛びたくなる、そんな1冊です。

